



**株式会社 ジクト**  
**第33期年次報告書**  
(平成19年3月1日から平成20年2月29日まで)

## 株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援並びにご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

企業集団の現況等のご報告に先立ちまして、まずはこの度の当社子会社(株式会社エムワイフーズ)による製造製品の異物混入に関しましては、株主の皆様並びに一般消費者の皆様へ、多大なるご迷惑とご心配をお掛けしましたことを、謹んで深くお詫び申し上げます。

その原因といたしましては製造機材の劣化による破損であり、機材管理の不徹底でありました。

今後二度とこのような事態が発生しないよう、機材の管理強化を従業員に指導・徹底し、より一層の安心・安全な製品の提供ができるよう万全を期してまいります。

当社の第33期連結会計年度(平成19年3月1日から平成20年2月29日まで)が終了いたしましたので、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。当連結会計年度におけるわが国経済は企業収益の改善に伴う設備投資の増加、雇用環境の改善等により、概ね堅調に推移してまいりましたが、後半は米国のサブプライムローン問題に端を発した金融・株式市場の混乱等による不安や原油・原材料の高騰による物価上昇懸念が個人消費に影響を及ぼすなど、景気に減速感が出てまいりました。当社グループの基幹となる外食産業におきましては食品の安全上にかかわる事件の多発、食材の値上がり、飲酒運転に関する規制強化等、依然として厳しい状況のもとに推移しました。当社グループにおきましては、平成19年3月31日付でアムゼ株式会社を吸収合併し資本剰余金3,004百万円が増加し、店舗数が51店舗増加しました。また、平成19年6月30日付で減資(△11,259百万円)を行い累積損失を一掃しております。

このような状況のもと、当社グループは、業務の効率化、原価率の改善、経費削減、不採算店舗の閉鎖を行うとともに、新店を10店舗出店した結果、直営店は190店舗になりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、21,672百万円(前期比27.9%増)、経常利益1,369百万円(前年同期は113百万円)、当期純利益517百万円(前年同期は△8,479百万円)となりました。

飲食事業につきましては、業務の効率化、原価率の改善、経費削減を行うとともに、来店客数の増加と売上の確保を図るため、グランドメニューの改定、季節メニューの導入など諸施策を実施してまいりました。

店舗の出退店につきましては岩手県に5店舗、福島県に2店舗、山形県に2店舗、宮城県に1店舗、計10店舗を新規出店し、21店舗を閉鎖しました。その結果、吸収合併店舗51店舗を含めて「ステーキ宮」を中心とした洋食業態は63店舗、「和食ダイニング暖や」を中心とした和食業態は98店舗、その他33店舗となり、当連結会計年度末の飲食店舗は194店舗、うちフランチャイズ店は4店舗となりました。

以上の売上高は21,086百万円(前期比25.5%増)となりました。

その他の事業につきましては東北及び新潟においてビデオ、DVD、CDソフトのレンタル及びゲーム、CDソフトリサイクル事業の直営店4店舗、フランチャイズ店1店舗で営業しております。

以上の売上高は585百万円となりました。

なお、当期における期末配当につきましては当期損益が黒字となったことから、利益配当に関する基本方針に基づき、普通株式1株につき1円とさせていただきます。

当社グループは引き続き店舗を重視した現場主義を徹底してまいります。また、お客様からより信頼される企業集団として発展するために以下に掲げる課題に積極的に取り組み、経営体質の強化に努めてまいります。

### ①収益性の高い経営基盤の確立

既存業態のメニュー・サービス内容及びオペレーションコストを抜本的に見直し、より収益性の向上を図るとともに、不採算店舗のスクラップを積極的に実施すると同時に、既存店の立地環境を見直し、より良い立地への出店を推進し、収益性の改善と利益の確保を図ります。

### ②業態別競争力の強化

各業態の特性(当社グループでしか味わうことのできない商品・サービス・雰囲気)を確立し、様々なお客様のニーズに積極的に応えとともに、外食マーケットの変化への対応、リスク分散できる体制を構築するため、新たな業態を開発してまいります。

### ③商品開発及び仕入システムの革新

お客様のニーズを的確に捉えたメニュー及び他社との差別化メニューの開発は、競争が一層厳しくなった外食産業においては不可欠であると考えます。「料理のおいしさ」、「安心・安全」、「ヘルシー」、「オリジナリティ」をもつ新メニューの開発に積極的に取り組んでまいります。

また店舗オペレーションの効率化を目的とした独自ブランド商品の開発及びその実現に向けた仕入システムの革新を進めてまいります。

## 財務ハイライト(連結)



## ④社員教育の強化

経営課題を実行するためには、社員の意識改革、能力開発が必要であります。これを確立するため社員教育の強化を図ってまいります。本社での店長及び職位毎の会議、各地区で行われるブロック店長会議での意識付け、また、スーパーバイザーによる徹底した指導を行うことにより、従業員一人一人が自ら『経営』を考えることができるよう、意識改革・能力開発を図ってまいります。

さらに、過去における不適切な会計処理が発見できなかった内部管理体制の強化及びコンプライアンスに対する役員、全従業員の意識改革を重要課題と認識し、抜本的な管理体制の改善に取り組んでおります。健全経営を確立し、株主及び投資家の皆様に適時・適切な情報開示が行えるよう改革を実践してまいります。

なお、改善すべき点として以下の6項目に取り組んでいます。

## ①内部統制機能の強化

組織及び社内業務処理体制の再構築を行います。

## ②取締役会の意思決定の改善

ガバナンス体制の強化を図るとともに、取締役会の機能を充実させます。

## ③監査機能の強化

社外より監査役を招聘するとともに内部監査室を増員し、緻密な監査の実施を目指します。

## ④本部組織の職務と担当者の長期にわたる固定化の抑制

活発な人事異動を行い職務と担当者の流動化を図ります。

## ⑤コンプライアンス(法令遵守)に対する社員の意識向上

外部より招聘した取締役を中心として、社内に法令遵守に対する意識を徹底してまいります。

## ⑥適切な法定開示・適時開示体制の強化

適時開示に係る社内体制を構築するとともに、情報開示への認識を深めてまいります。

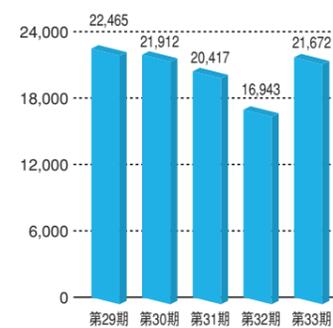
また、グループ会社である「アムゼ株式会社」との合併により、両社で培ったメニュー開発・店舗開発の最適化業態の相互活用、流通機能の一元化及び本部体制の共通化を行い一層の収益力の向上とコスト削減を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年5月27日

代表取締役社長 小澤 俊治

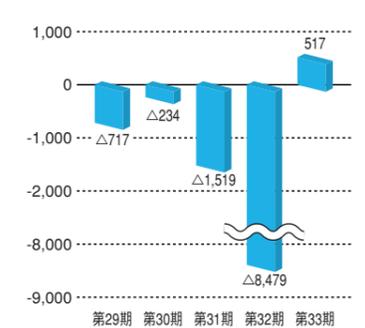
## ■売上高 (単位:百万円)



## ■経常利益 (単位:百万円)



## ■当期純利益 (単位:百万円)



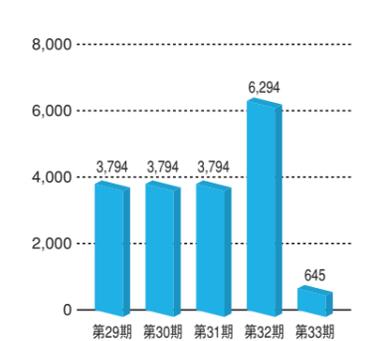
## ■1株当たり当期純利益 (単位:円)



## ■総資産/純資産 (単位:百万円)

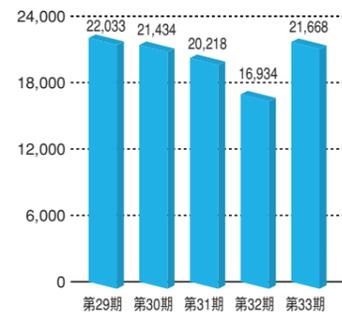


## ■資本金 (単位:百万円)

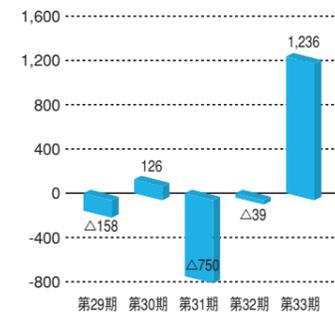


## 財務ハイライト(個別)

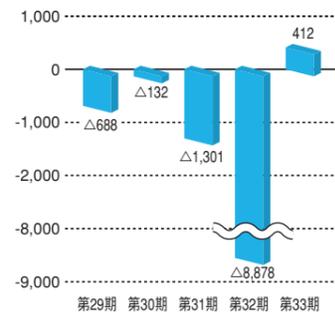
■売上高 (単位:百万円)



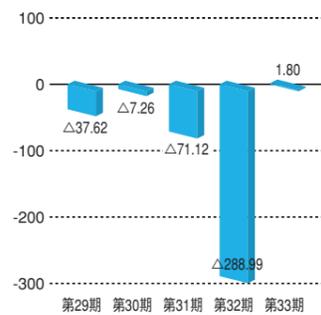
■経常利益 (単位:百万円)



■当期純利益 (単位:百万円)



■1株当たり当期純利益 (単位:円)



■総資産/純資産 (単位:百万円)



## 連結財務諸表



■連結貸借対照表 (平成20年2月29日現在)

科目	金額
<b>(資産の部)</b>	
流動資産	2,500,191
現金及び預金	1,228,459
売掛金	134,427
たな卸資産	270,393
前払費用	336,209
未収入金	89,315
繰延税金資産	339,228
その他	102,237
貸倒引当金	△80
固定資産	16,366,825
有形固定資産	11,150,245
建物及び構築物	7,306,311
器具備品	184,326
土地	3,653,431
その他	6,175
無形固定資産	92,634
投資その他の資産	5,123,945
投資有価証券	758,989
長期前払費用	181,170
差入保証金	3,903,647
繰延税金資産	215,404
その他	616,365
貸倒引当金	△551,632
繰延資産	4,377
社債発行費	4,377
資産合計	18,871,394

(単位:千円)

科目	金額
<b>(負債の部)</b>	
流動負債	4,447,394
買掛金	756,795
短期借入金	324,000
一年内返済予定長期借入金	2,161,230
一年内償還社債	32,000
未払金	418,127
未払法人税等	101,517
未払費用	471,147
賞与引当金	46,859
閉店損失引当金	19,230
その他	116,487
固定負債	10,582,270
社債	719,000
転換社債型新株予約権付社債	2,200,000
長期借入金	6,479,892
預り保証金	904,040
退職給付引当金	53,471
債務保証損失引当金	27,417
負ののれん	1,718
その他	196,729
負債合計	15,029,665
<b>(純資産の部)</b>	
株主資本	3,960,785
資本金	645,767
資本剰余金	3,004,347
利益剰余金	312,785
自己株式	△2,114
評価・換算差額等	△119,056
その他有価証券評価差額金	△41,204
繰延ヘッジ損益	△77,851
純資産合計	3,841,729
負債・純資産合計	18,871,394

**■ 連結損益計算書** (平成19年3月1日から平成20年2月29日まで) (単位:千円)

科 目	金 額
売上高	21,672,196
売上原価	6,836,237
売上総利益	14,835,958
販売費及び一般管理費	13,372,793
営業利益	1,463,164
営業外収益	490,105
受取利息	16,768
受取配当金	5,187
賃料収入	383,961
雑収入	84,188
営業外費用	583,698
支払利息	307,570
賃貸原価	251,648
雑損失	24,479
経常利益	1,369,571
特別利益	54,088
固定資産売却益	27,952
貸倒引当金戻入益	62
閉店損失引当金戻入益	12,115
債務保証損失引当金戻入益	5,392
移転補償金	8,564
特別損失	1,388,561
固定資産除却損	97,900
リース契約解約損	2,369
賃貸借契約解約損	10,160
減損損失	421,727
投資有価証券評価損	787,867
貸倒引当金繰入額	19,805
製品回収費用	25,257
その他	23,471
税金等調整前当期純利益	35,098
法人税、住民税及び事業税	70,489
法人税等調整額	△553,213
当期純利益	517,822

**■ 連結株主資本等変動計算書** (平成19年3月1日から平成20年2月29日まで) (単位:千円)

	株主資本				評価・換算差額等			純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益		評価・換算 差額等合計
平成19年2月28日 残高	6,294,197	5,611,331	△11,464,798	△14,060	426,670	△356,328	△57,582	△413,911	12,759
連結会計年度中の変動額									
合併		3,004,347		13,322	3,017,669	△8,798		△8,798	3,008,870
減資	△5,648,429	△5,611,331	11,259,761		-				-
自己株式の取得				△1,375	△1,375				△1,375
当期純利益			517,822		517,822				517,822
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)						323,921	△20,269	303,653	303,653
連結会計年度中の変動額合計	△5,648,429	△2,606,984	11,777,583	11,946	3,534,115	315,123	△20,269	294,854	3,828,970
平成20年2月29日 残高	645,767	3,004,347	312,785	△2,114	3,960,785	△41,204	△77,851	△119,056	3,841,729

**■ 連結キャッシュ・フロー計算書** (平成19年3月1日から平成20年2月29日まで) (単位:千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,553,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△547,808
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,357,991
現金及び現金同等物の増減額	△352,256
現金及び現金同等物の期首残高	969,233
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	577,326
現金及び現金同等物の期末残高	1,194,302

## 財務諸表



## ■ 貸借対照表 (平成20年2月29日現在)

科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>	
流動資産	2,293,306
現金及び預金	1,027,607
売掛金	121,429
商品	120,627
店舗食材	124,082
貯蔵品	15,057
前払費用	336,209
未収入金	108,982
未収法人税等	97,231
立替金	1,218
繰延税金資産	337,155
その他	3,788
貸倒引当金	△81
固定資産	16,650,467
有形固定資産	11,301,503
建物	6,957,663
構築物	508,014
車両運搬具	2,894
器具備品	179,499
土地	3,653,431
無形固定資産	92,047
借地権	42,802
ソフトウェア	16,236
電話加入権	28,623
その他	4,385
投資その他の資産	5,256,916
投資有価証券	758,989
関係会社株式	133,000
出資金	50
長期貸付金	32,300
従業員長期貸付金	1,107
長期前払費用	181,170
差入保証金	3,903,647
長期未収入金	581,252
繰延税金資産	215,395
貸倒引当金	△549,998
繰延資産	4,377
社債発行費	4,377
資産合計	18,948,151

(単位:千円)

科 目	金 額
<b>(負債の部)</b>	
流動負債	4,426,335
買掛金	754,286
短期借入金	324,000
一年内返済予定長期借入金	2,161,230
一年内償還社債	32,000
未払金	404,369
未払費用	471,147
未払法人税等	96,014
商品券等	7,712
預り金	25,638
前受収益	25,146
賞与引当金	46,779
閉店損失引当金	19,230
その他	58,779
固定負債	10,580,552
社債	719,000
転換社債型新株予約権付社債	2,200,000
長期借入金	6,479,892
退職給付引当金	53,471
債務保証損失引当金	27,417
預り保証金	904,040
その他	196,729
負債合計	15,006,887
<b>(純資産の部)</b>	
株主資本	4,060,319
資本金	645,767
資本剰余金	3,004,347
その他資本剰余金	3,004,347
利益剰余金	412,320
その他利益剰余金	412,320
繰越利益剰余金	412,320
自己株式	△2,114
評価・換算差額等	△119,056
その他有価証券評価差額金	△41,204
繰延ヘッジ損益	△77,851
純資産合計	3,941,263
負債・純資産合計	18,948,151

## ■ 損益計算書 (平成19年3月1日から平成20年2月29日まで)

(単位:千円)

科 目	金 額
売上高	21,668,712
売上原価	6,976,804
売上総利益	14,691,907
販売費及び一般管理費	13,401,673
営業利益	1,290,233
営業外収益	525,839
受取利息	16,438
受取配当金	5,187
賃料収入	415,666
雑収入	88,547
営業外費用	579,251
支払利息	267,731
社債利息	39,839
社債発行費償却	4,407
株式交付費	1,639
賃貸原価	251,648
雑損失	13,984
経常利益	1,236,821
特別利益	54,025
固定資産売却益	27,952
閉店損失引当金戻入益	12,115
債務保証損失引当金戻入益	5,392
移転補償金	8,564
特別損失	1,370,416
固定資産除却損	97,630
リース契約解約損	2,369
賃貸借契約解約損	10,160
減損損失	429,110
投資有価証券評価損	787,867
貸倒引当金繰入額	19,805
その他	23,471
税引前当期純損失	79,568
法人税・住民税及び事業税	60,661
法人税等調整額	△552,550
当期純損失	412,320

## 株式の状況 (平成20年2月29日現在)



### ■ 株主資本等変動計算書 (平成19年3月1日から平成20年2月29日まで) (単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成19年2月28日 残高	6,294,197	5,611,331	-	5,611,331	△11,259,761	△11,259,761	△14,060	631,706
事業年度中の変動額								
合併			3,004,347	3,004,347			13,322	3,017,669
減資	△5,648,429	△5,611,331		△5,611,331	11,259,761	11,259,761		-
自己株式の取得							△1,375	△1,375
当期純利益					412,320	412,320		412,320
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)								
事業年度中の変動額合計	△5,648,429	△5,611,331	3,004,347	△2,606,984	11,672,081	11,672,081	11,946	3,428,613
平成20年2月29日 残高	645,767	-	3,004,347	3,004,347	412,320	412,320	△2,114	4,060,319

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
平成19年2月28日 残高	△356,328	△57,582	△413,911	217,795
事業年度中の変動額				
合併	△8,798		△8,798	3,008,870
減資				
自己株式の取得				△1,375
当期純利益				412,320
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	323,921	△20,268	303,653	303,653
事業年度中の変動額合計	315,123	△20,268	294,854	3,723,467
平成20年2月29日 残高	△41,204	△77,851	△119,056	3,941,263

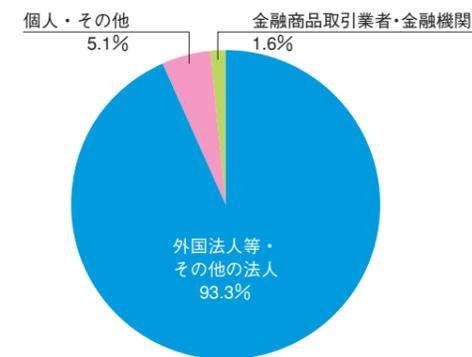
●発行可能株式総数	普通株式	299,999,950株
	優先株式	50株
●発行済株式の総数	普通株式	217,044,548株
	第1回優先株式	7株
	第2回優先株式	7株
	第3回優先株式	18株
●単元株式数	普通株式	1,000株
	優先株式	1株
●株主数	普通株式	6,686名

●発行済株式の総数の10分の1以上の数の株式を保有する株主

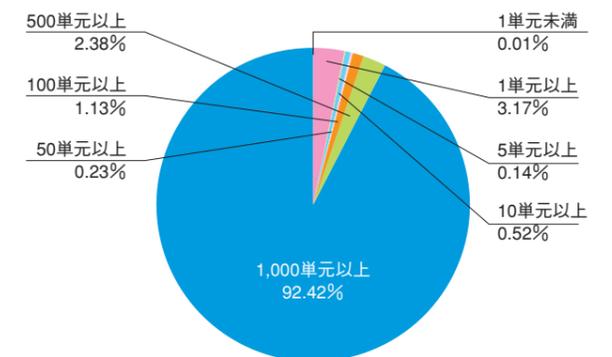
株主名	持株数	出資比率
株式会社 コロワイド	198,439,000株	91.43%

(注) 出資比率は自己株式(5,680株)を控除して計算しております。

### ■所有者別(株式数)



### ■所有単元株数別(株式数)



## 会社概要

商号	株式会社ジクト
所在地	〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和一丁目2-18
電話	028-625-0038
FAX	028-625-0181
設立	昭和53年12月1日
資本金	645,767,086円
事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
主要取引銀行	株式会社足利銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社あおぞら銀行 株式会社栃木銀行 株式会社東和銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社三井住友銀行
子会社	株式会社エムワイフーズ 株式会社宮地ビール
事業内容	北関東・東北・北陸地区における直営・FC飲食チェーン(カラオケ店含む)及びレンタルビデオ店の経営

## 役員一覧 (平成20年5月27日現在)

代表取締役社長	小澤俊治
取締役	太田一義
取締役	安野真
取締役	石原正二郎
常勤監査役	山本崇雄
監査役	宇夫方兼治
監査役	阿部 聡

## 株主優待のご案内

毎年2月末日及び8月31日現在において株主名簿に記載のある1,000株以上の株主様に、13,000円相当(1,000円券13枚綴り)のお食事優待券を年2回進呈しております。

お食事券の送付時期は、2月末日現在の株主様へは、5月中旬に(有効期限は同年11月30日まで)、8月31日現在の株主様へは、11月中旬頃(有効期限は翌年5月31日まで)を予定しております。

また、お食事券をご希望されない株主様には、お食事券(有効期限内のものであり、未使用のものに限ります)を下記住所までご返送いただきますと、お米(栃木県産コシヒカリ10kg)をお送りさせていただきます。



優待内容についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

フリーダイヤル 0120-34-3815  
〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和一丁目2-18  
株式会社ジクト 企画総務課

## 業態紹介

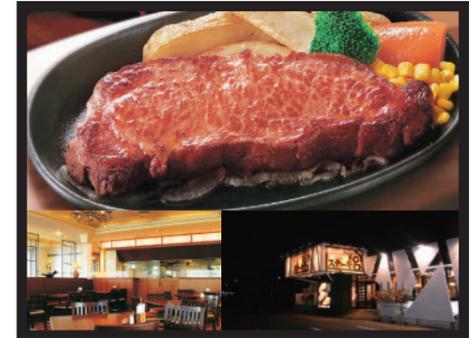


### ステーキ宮 家族レストランの王様



おいしい、たのしいを合言葉に安心安全なステーキと和牛入り手造りハンバーグを創業の味「宮のタレ」でお召し上がりいただくステーキ専門レストランです。ドリンクバー・スープバーを組み入れたセットメニューが好評です。熱々の鉄板が奏でる音と香りのハーモニーは多くのお客様を幸せの空間へと誘います。

おもてなしの心のこもったサービスでご満足いただけるくつろぎの一時を提供いたします。



### エムズダイニング 家族全員がハッピーになれるレストラン



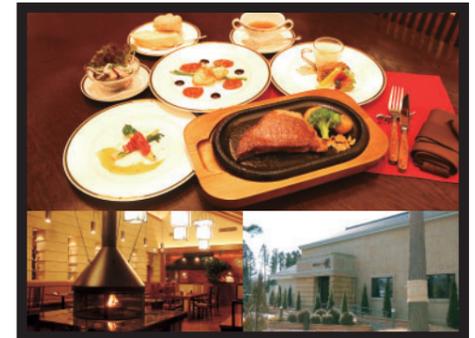
60年代のアメリカのエッセンスをふんだんに取り入れた明るい店内。楽しい雰囲気と元気なサービスは、お客様を夢中にさせます。赤ちゃんからお年寄りまで、全世代をカバーしたメニューで、皆様をお待ちしております。ステーキ・ハンバーグ・チキン料理・ドリア・パスタ・ピザ・ブレッド類、多様なデザートに、ワイン・カクテル・ビール・ウイスキー・日本酒など、お替り自由なスープバー・ドリンクバーとともに洗練された低価格で、多くのお客様に支持されています。



### 和牛ステーキ 桜 落ち着いた雰囲気の中、上質のステーキを。



とちぎ和牛の上級のお肉だけを使用したワンランク上の料理をご提供しています。上質なおいしいワインとともに、大谷石を使った落ち着いた空間の中で、ゆったりとした素敵な時間をお過ごしいただけます。



### 和処ダイニング 暖や

癒しの空間がもてなす、和風創作料理。



非日常的な第三の場所として、くつろぎと癒しの空間を提供するとともに、和にこだわったダイニングでおもてなしするお店。料理人と会話を楽しむカウンター席、オープンスタイルのボックス席、竹庭を眺められる個室や掘ごたつ席など、多様なご利用動機にお応えできるお店です。ご注文のあとで炊き上げる釜飯、備長炭を使った山海の焼もの、新鮮なお刺身など、旬の食材をふんだんに取り入れ、和のメニューを中心に数々の逸品を揃えました。和みの雰囲気、女性やビジネスマンなど、幅広いお客様に支持されています。



### 居食ダイニング 暖

ほっと一息つきたくなる、心の隠れ家。



自然な「木」の感触をモチーフに、木にこだわりぬいた、ゆるやかなゆったりした空間に、おだやかなライトニングで、やすらぎをあたえる創りのお店です。落ち着いたジャズ系の音楽の中、「暖」のメインとなる「航海・山賊料理」、「鶏料理」、「創作豆腐」や和の食材を基本に調理、盛付けした、個性溢れる創作料理を楽しめます。

個室間溢れるテーブル席、みんなでワイワイ楽しめるパーティー用席など、いつでも気軽に利用できる、ふだん着の「暖」です。

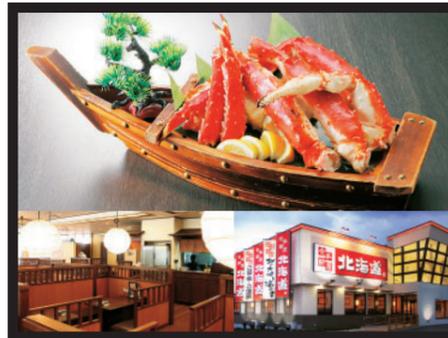


### 食事酔房 北海道

北海道の味を居ながらに。



北海道産の厳選食材を使った豪快なメニューがこの店の「売り」。その日その時期その季節でいちばん旬な食材を、「おすすめメニュー」として最高に美味しいスタイルでお出しします。また今までの居酒屋というジャンルにとどまることなく、家族やお友達とおいしいお食事を楽しめるメニューを増やし、北海道産直のお料理も飲み物も楽しくいただけるお店です。



### 美酒・創菜ダイニング 寧々家

「プチはれ」を楽しめる、こだわりの空間と創作料理。



こもり感のある空間で、多種多様な料理やドリンクで、一日の最後をお楽しみいただくことをコンセプトとしています。

本物にこだわり、時には遠方の産地まで飛び、食材を吟味して生まれる料理で、今日の癒しと明日への活力をお届けします。



### 魚活鮮と炙り焼き 寧々家

ゆったりとした寛ぎ空間と、和食にこだわった新鮮な素材の味の探求。



三陸の漁港より直送した旬の魚介を主菜に東北の食材を使った手造りの酒肴の数々をご用意しております。

また、落ち着いた店内は、充実した個室でゆったりと過ごせるくつろぎの和空間となっております。



### うまいもの、いっぱい いろはにほへと

「なつかしさ」を楽しめる、北海道生まれの笑顔あふれる居酒屋



様々な海鮮料理など、北の大地の味を楽しめるメニューを数多く取り揃えた居酒屋です。

いろはにほへとでは、昔お母さんに作ってもらった「偉大なるおかず」を、田舎のおばあちゃん家のような、なつかしい空間でお楽しみいただけます。



## 株主メモ



### カラオケ&パーティー 時遊館

時遊館はカラオケ業界のオピニオンリーダーです。



日本が世界に広めたアミューズメント産業の代表、カラオケ。このエンターテインメント施設は、「健康」をテーマに、「歌」を通して得られる心の解放＝楽しさが最大の魅力です。マイナスイオン空気清浄機や禁煙ルームの設置など、最新設備の導入により快適に過ごすための工夫はもちろん、既存のカラオケ店の一歩先をいく個性的な企画、フードビジネスを展開する強みを生かした本格的メニューなど、わくわくする魅力に溢れています。コンセプトは「みんなニコニコ楽しさいっぱい快適空間」。時遊館は、ジクトの多彩なアイデアが散りばめられた玉手箱です。



### ソフトレンタル 創夢館

豊かな映像と音楽を、豊かなひと時のために。



ビデオ・CDレンタル創夢館は85年に1号店をオープン、提案型のディスプレイやイベントなどで地域密着型の店舗展開を行っています。ビデオ・CDレンタルにCD・ゲームソフトのセールとリサイクル、さらに大型店ではマンガ喫茶を複合化し、お客様の多様なニーズにえています。



### ときわ

しゃぶしゃぶと三陸の旬のにぎり



しゃぶしゃぶ、三陸の旬の握り寿司、会席料理を中心にハレの日を洗練された“和”料理と、細かい心遣いでもてなす『至福空間』がコンセプトです。和の作法『気配り、目配り、心配り』の行き届いた内容で素材のおいしさ、旬の魚活鮮、華のある上品な料理を多種お召し上がりいただけます。



上場取引所 株式会社ジャスダック証券取引所

証券コード 9901

発行済株式総数 217,044,580株

株式の売買単位 1,000株

株主名簿管理人 〒540-8639大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-6611東京都千代田区丸の内一丁目4番4号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

同取次所 住友信託銀行株式会社 全国本支店

●フリーダイヤル 0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求)  
0120-176-417 (その他のご照会)

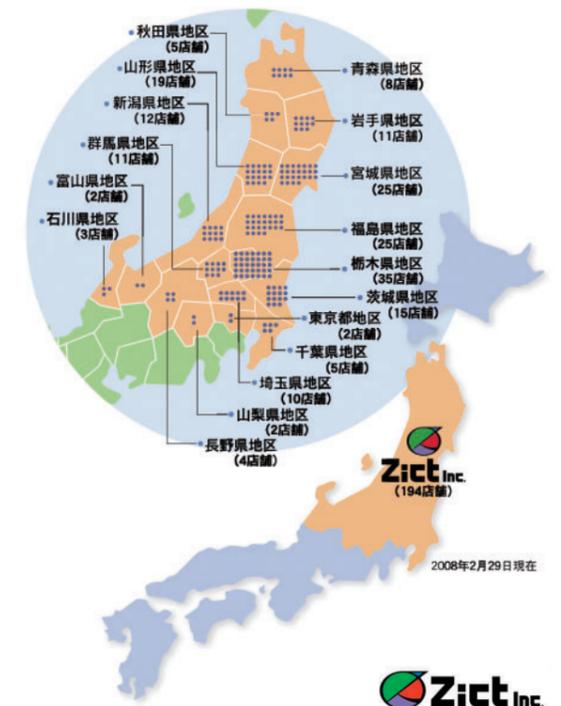
●ホームページ <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

定時株主総会 毎年5月開催

基準日 毎年2月末日  
その他予め公告する一定の日

公告の方法 電子公告により行います。ただし、電子公告による  
ことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。

### ZICT Overview<店舗網>



## 株式会社ジクト

ホームページ <http://www.zict.co.jp>